

働き方改革の取組について

公立大学法人奈良県立医科大学
奈良県立医科大学附属病院
病院長 吉川 公彦



奈良県立医科大学附属病院の紹介

＜病院理念＞

患者と心が通い合う人間味あふれる医療人を育成し、地域との緊密な連携の下で奈良県民を守る最終ディフェンスラインとして、安全で安心できる最善の医療を提供します。

＜基本方針＞

1. 県民を守る「最終ディフェンスライン」の実践
2. 県内基幹病院としての機能の充実
3. 地域医療機関との機能分担、緊密連携の推進
4. 各領域の担い手となる医療人の育成

奈良県立医科大学附属病院の紹介

＜病床数＞ 992床

＜職員数＞ 3142名（2023.9.1時点） ※非正規職員含む

- 特定機能病院
- 災害拠点病院（基幹災害医療センター）
- 高度救命救急センター
- 第一種・第二種感染症指定医療機関
- 基幹型臨床研修病院
- 特定承認保険医療機関（高度先進医療）
- エイズ中核拠点病院
- 精神科救急医療施設
- 都道府県がん診療連携拠点病院
- 奈良県難病診療連携拠点病院
- がんゲノム医療拠点病院
- 肝疾患診療連携拠点病院
- 総合周産期母子医療センター
- 認知症疾患医療センター（基幹型）

奈良県二次保健医療圏地図

奈良保健医療圏

西和保健医療圏

東和保健医療圏

中和保健医療圏

南和保健医療圏



奈良医大担当区域
…中和保健医療圏

※区域外からも
救急搬送等される



奈良医大における働き方改革について

1. 夜間勤務（宿直）の見直し
2. タスクシフト取組事例
3. 面接指導体制
4. 今後の課題

1. 夜間勤務（宿直）の見直し

従来の運用

……全26診療科 17時15分～翌日8時30分まで宿直対応

働き方改革に向けて

宿直許可取得要件を満たす科

宿直許可再取得

宿直許可取得要件を満たさない科

夜間勤務化

各科の状況に合わせて見直し

宿直許可取得に向けての工夫

宿直開始時刻
22時パターンを
追加して運用

① 時間帯を短縮して取得

⇒ 22時～翌8時30分まで

② 宿直と勤務に分割して取得

1stcallを勤務 / 2ndcallを宿直

③ 合同当直体制

放射線腫瘍科 & がんゲノム・腫瘍内科

宿直許可取得状況

(2023年10月1日時点)

宿直許可取得済み

小児科、耳鼻咽喉・頭頸部外科、
感染症内科、整形外科（上当直）

宿直許可取得予定

腎臓内科、呼吸器内科、血液内科、
脳神経内科、脳神経外科、
胸部・心臓血管外科、口腔外科、
眼科、皮膚科(形成外科)、泌尿器科、
放射線腫瘍科 & がんゲノム・腫瘍内科

合同当直体制に向けての課題

特異性、専門性

対応が遅れる懸念

負担感の増加

オンコール体制の整備

県内最終ディフェンス

県内での最終的
搬送先となっ
ている

夜間勤務化（試行）診療科

（2023年10月1日時点）

夜間勤務化 移行済み

循環器内科、消化器内科、
消化器・総合外科、産婦人科、
放射線診断・I V R、麻酔科、
救急科、総合診療科、
糖尿病内分泌内科、NICU

夜間勤務化 移行予定

精神科、整形外科（下当直）

夜間勤務化における課題

①夜勤明けのシフト調整

役割分担

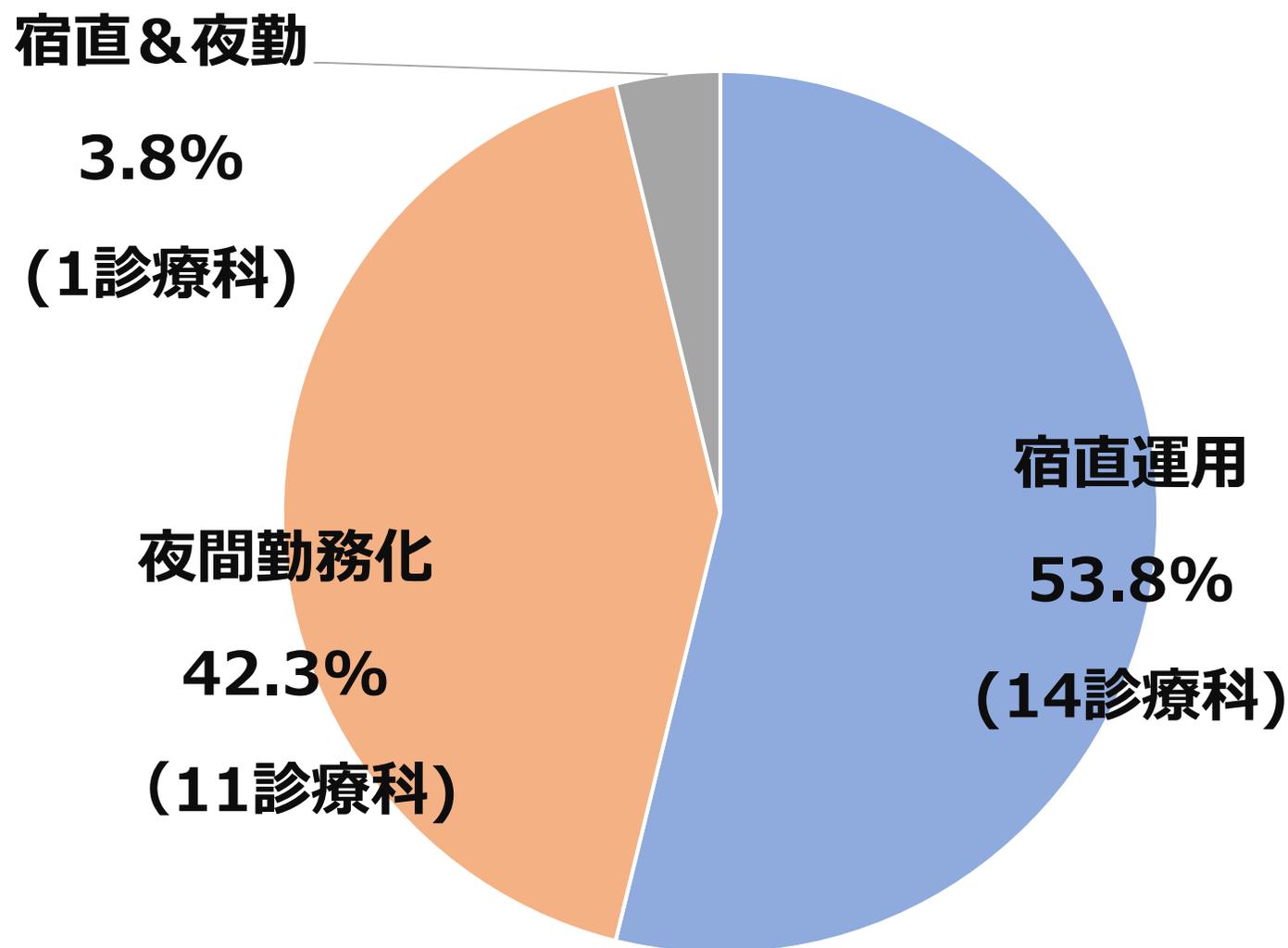
②時間外時間数の増大

上限時間の遵守
人件費の増加

③人員確保

忙しい科に
人が集まらない

2024年度：宿直運用と夜間勤務化の割合



2. タスクシフト取組事例

タスクシフト部会の設置（2022年度～）

働き方改革推進委員会



働き方改革プロジェクト
医師労働時間短縮計画作成に必要な事項に
ついて本学におけるルール策定

タスクシフト/シェア部会

- ・ 対応職種、体制(規模)、実施時期の検討
- ・ 関係職種への説明・研修の計画
- ・ 患者への説明（院内掲示等）の検討

必要に応じて
経営運営会議、
運営協議会にて
意見聴取・審議

2021年度以降の取り組み

医師→看護師	<ul style="list-style-type: none">・ 特定行為研修修了看護師の配置
医師→医療技術職	<ul style="list-style-type: none">・ 臨床工学技士による 麻酔アシスタント・ 診療放射線技師による 放射線治療計画の作成・ 診療放射線技師による 造影剤静脈注射
看護師→看護補助	<ul style="list-style-type: none">・ 障害者雇用推進係員による ベッドメイク・ 夜間看護補助者の導入

特定看護師の配置

本学における特定行為研修修了者のこと

特定看護師数：**29名** ※うち1名育休中（2023.4.1時点）

配置部署：**集中治療部・救命救急センター** 他

主な実施行為



侵襲的陽圧換気の設定の変更



橈骨動脈ラインの確保



末梢留置型中心静脈注射用カテーテルの挿入

特定看護師の配置の現状と課題

必要部署への常時配置には至っていない
(救急科ではドクターヘリ搭乗など他業務も兼任)



- ・ 研修受講に係る負担軽減（パッケージ再検討も視野）
- ・ 特定行為業務に専従できる環境（人員体制）
- ➡モチベーション向上（やりがい、インセンティブ）

特定看護師の配置における取組例

2023年9月～

ICUの夜間帯に常時1名特定看護師を配置



稼働率にもよるが特定行為に専従できる環境が生まれ、対応件数が大幅に増加

配置前(月平均) : 31.6件 ▶ 9月実績 : 80件

ICU医師の負担軽減にも寄与

臨床工学技士の麻酔アシスタント

業務：事前の麻酔器や薬剤・輸液ラインの準備、術中の麻酔記録の代行記載、医師の指示のもと麻酔器の管理業務等



↓

安全性の向上、重症症例の煩雑な業務が軽減、トラブル対応や入替が早くなった等、
医師の業務負担改善に寄与

麻酔科医の指導の下、1年間OJTで実習し、修了者は「**高度医療技術修得者**」として当院より認定する制度もあり、**モチベーションUP**に繋がっている。

診療放射線技師の放射線治療計画の作成

医師が治療方針決定後、医師あるいは専属の医学物理士が治療計画を作成

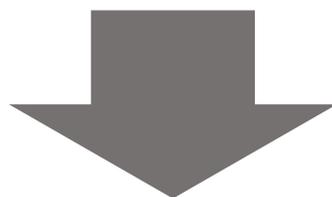


近年の治療の高精度化に伴う計画作成の作業にも多くの時間を要するようになったため、診療放射線技師へタスクシフト

1件あたりおよそ **1.5 時間**程度の
医師の業務負担を軽減

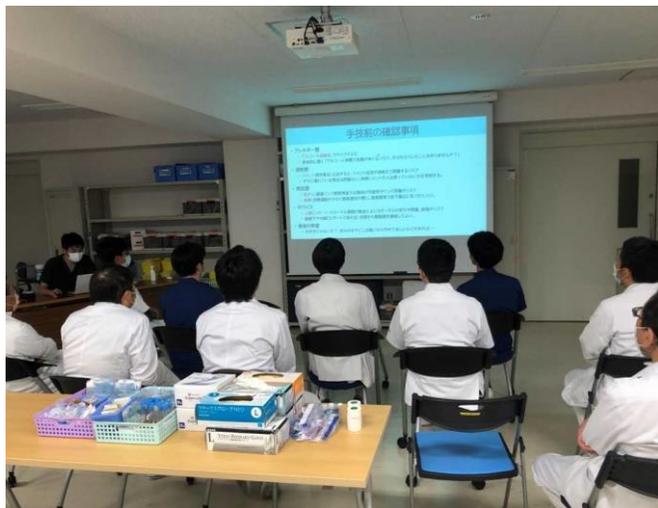
診療放射線技師の造影剤静脈注射①

2021年5月21日に成立した「良質かつ適切な医療を効率的に提供する体制の確保を推進するための医療法等の一部を改正する法律案」により、**診療放射線技師含む各職種の業務範囲が拡大**



2023年4月から、**CT室における造影剤注射**を、
診療放射線技師へタスクシフト

診療放射線技師の造影剤静脈注射②



放射線科医師
による
静脈注射の
講義受講

造影剤静脈注射：静脈穿刺と造影剤注入処置

確認日： 年 月 日

実施者： _____

確認者： _____

○:できた △:一部できた ×:できなかった

(造影剤静脈注射チェック項目：手順と留意点)	○	△	×	コメント
1.必要物品の準備をする	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
2.医師から説明を受けているか確認し静脈穿刺をすることの同意を得る	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
3.患者本人であることを確認する。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
4.穿刺しやすいように周囲の環境・衣装・体位を整える	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
5.血管の走行を確認し、穿刺部位を選択する。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
☆利き手でない側の前腕～肘関節を第一選択	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
☆採血など直前に穿刺された部位よりも中極側を選択	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
☆なるべく蛇行していない血管を選択する	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
☆肘関節付近は動脈や神経の走行があるので避ける	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
☆以下の部分は避ける	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
●肘関節を除く屈曲部位、静脈炎、輸液漏れのある部位	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
●血腫、やけど、重度のアトピー性皮膚炎のある部位	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
●乳房切除術(リンパ郭清後)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
●透析シャント側	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
●上腕 CV ポート側	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
●麻痺側	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
6.マスク、フェイスシールドは着用の上手指消毒をし、使い捨て手袋を着用する	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
7.手台に汚染防止シートを敷き、必要物品を取りやすい位置に置く	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
8.穿刺針の破損がないか目視で確認する	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
9.脈血管を穿刺部より7-10cm中極側に巻き、患者の母指を中にして手を握るように説明し、血管を確認する	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
10.アルコールが濡れないか患者に確認し、消毒用アルコール α0.2%クロルヘキシジングルコン酸塩含浸布を選択する	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
11.穿刺部位を中心に中から外に向かって円を描くように皮膚を消毒し、乾燥させる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

シミュレーター
を使用した練習
と受講者間での
ルートキープ



診療放射線技師の造影剤静脈注射③

対応件数実績推移 (2023年4月よりタスクシフト開始)

月	4月	5月	6月	7月	8月
件数	252	246	293	279	309
技師実施比率	46.4	42.7	47.2	47.9	51.8

(件)

(%)

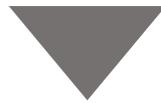
医師から診療放射線技師への、造影剤注射タスクシフト率

➔ **47.3%** ※15番検査室での実績
(2023.4~2023.8までの平均)

夜間看護補助の導入①

導入に至った経緯

- ・看護必要度及び業務密度に応じた適正な看護配置
- ・タスクシフト推進のため看護職員の負担軽減の必要性
⇔看護補助者は日勤のみ、退職者補充も困難な状況……



必要な人員数確保のため、派遣会社を活用

【勤務時間】 16:30～22:30（休憩なし） 6時間勤務

常勤換算で30名程度

（夜間100対1看護補助体制加算）

夜間看護補助の導入② 本学看護学生に協力を依頼し 業務トライアルを実施

トライアル内容

業務フロー整備・業務負荷を確認

- ・ 期間を1週間程度に設定（2病棟×2名ずつ配置）
- ・ 予め設定した業務に対して、実施状況を確認

時間帯ごとの業務	都度業務
配膳・配茶・下膳 イブニングケア 清掃（洗浄や消毒） 物品補充・ゴミ回収	搬送介助・患者見守り 体位変換・オムツ交換補助 メッセンジャー（検体・薬・書類） インターホン対応・ベッドメイク

- ・ 終了後本人評価＋師長による評価

➡ トライアル結果を反映し、運用開始

夜間看護補助の導入③

10月～：採用・配置

採用時研修及び病棟フォローを適切に行うため
時期をずらして段階的に採用・配置

第1期：13病棟に各1～2名（計18名）

第2期：各病棟に各1～2名追加配置

チェックリストにより業務の実施状況を確認

11月～実績、12月届出、1月～算定開始（予定）

実施状況のモニタリングを
行ったうえで、適宜業務を見直し

実施した業務にチェックを入れ業務終了後にリーダー看護師にお渡しください。

※スケジュールにない業務を実施した際は箇条書きで記入してください。

チェックリスト

日報として毎日記載



業務実施状況を評価



適宜業務見直しを行う

タイムスケジュール		随時行う業務	
		単独業務	看護師共同業務
16:30	<input type="checkbox"/> 日勤補助者と情報交換・PHS 受け取り <input type="checkbox"/> 手拭きタオル、吸い飲み、ガーグルベースン準備 <input type="checkbox"/> 食事前オーバーテーブル清掃 <input type="checkbox"/> 配茶(配茶してはいけない方をリーダーに確認後)	<input type="checkbox"/> デイルーム・カンファレンス室等の清掃 <input type="checkbox"/> 電子カルテや棚の清掃 <input type="checkbox"/> 退院後ベッド清掃 <input type="checkbox"/> 包交車の清掃・補充 <input type="checkbox"/> 清拭車の洗浄・乾燥 <input type="checkbox"/> リネンの片づけ・補充 <input type="checkbox"/> 設置している手袋の補充 <input type="checkbox"/> その他、物品の補充・請求 <input type="checkbox"/> 薬局での薬受領 <input type="checkbox"/> 検体・輸血の搬送 <input type="checkbox"/> スタッフ仮眠用シーツを敷く <input type="checkbox"/> 翌日の清拭タオル・洗面タオルの準備 <input type="checkbox"/> 面会者の対応	<input type="checkbox"/> オムツ交換 <input type="checkbox"/> 体位変換 <input type="checkbox"/> シーツ交換 <input type="checkbox"/> 患者見守り(認知症・せん妄) <input type="checkbox"/> ゴミ袋片付け(感染ゴミ・針捨てBOX 含む) <input type="checkbox"/> 看護師に指示された分のOP場へのベッド搬送 <input type="checkbox"/> 患者搬送 <input type="checkbox"/> スタッフから指示された患者の売店への送迎 <input type="checkbox"/> ME 機器貸借品の運搬 <input type="checkbox"/> シンクの掃除 <input type="checkbox"/> デイルームとパントリーの掃除(給茶機はしない) <input type="checkbox"/> 就寝準備の補助
17:45	<input type="checkbox"/> 配膳(配膳してはいけない食事をリーダーに確認後)		
18:00	<input type="checkbox"/> 食事介助・食事見守り(リーダーに指示された患者のみ) <input type="checkbox"/> 配膳車の片づけ・下膳用カートの設置		
18:15	<input type="checkbox"/> 下膳(食事摂取量の確認・下膳に私物が無いか確認) <input type="checkbox"/> ガーグルベースン・吸い飲み回収 <input type="checkbox"/> お箸・スプーンの洗浄、片付け <input type="checkbox"/> 歯磨きの準備、片付け <input type="checkbox"/> 義歯洗浄		
19:00	<input type="checkbox"/> ガーグルベースン・吸い飲みなど洗浄(後から出てくるのでその都度)	その他リストにない業務 ※上のリストにない業務を行った場合以下に箇条書きで記入してください。	
20:00	<input type="checkbox"/> 汚物室の確認 <input type="checkbox"/> 処置室の清掃	例) <input type="checkbox"/> 白衣の配布	
22:30	<input type="checkbox"/> 申し送り		
22:00	<input type="checkbox"/> 食器乾燥機のをしまう <input type="checkbox"/> 風呂場のゴミ捨て・窓開け・施設 <input type="checkbox"/> 汚物室の確認 <input type="checkbox"/> 物品補充		
22:15	<input type="checkbox"/> 最終外回り(リーダーに声掛け)		
22:30	<input type="checkbox"/> PHS 返却 <input type="checkbox"/> 報告書の記入・提出		

障害者雇用のベッドメイク

当院における障害者雇用率……**3.12%**（2022年度実績）

全国平均**2.72%**を上回る



看護師→看護補助にタスクシフトされたベッドメイク業務を、更に障害者雇用にタスクシフト

他にもタオル折りや物品補充、手術準備や洗浄、患者への配膳や事務補助、シュレッダー回収等、**幅広く活躍**

今後の検討事項

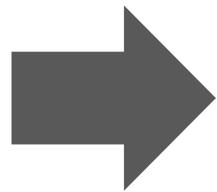
- ・ 自動化ソフトによる冠動脈CT検査の画像構築解析
- ・ 救急救命士の採用を検討

自動解析ソフトによるCT画像構築解析

業務内容：冠動脈CT検査の画像構築解析と評価

件数：約20件/月

所要時間：1時間/件



医師の時間外労働を

1週間当たり **20時間ほど削減**

ができる見込み

救急救命士の採用を検討①

現状 : 救急科の夜間勤務体制として初期研修医も従事

2024.4~ : 連続勤務時間規制により、
初期研修医は **朝8時30分に帰宅する必要**



**初期研修医が担う役割を整理し、
救急救命士にタスクシフトを検討**

救急救命士の採用を検討②

検討課題

業務内容や規定の策定、研修体制や教育体制の整備等について委員会を設置し、検討する必要がある。

医療機関に就業する救急救命士の資質及び当該救急救命士が行う業務の質を担保する仕組み

□ 救急救命士の資質及び救急救命士が行う業務の質の担保を目的として、救急救命士を雇用する医療機関は、当該医療機関内に委員会を設置し、以下の研修体制等を整備すること。

〔実施可能な救急救命処置の範囲等に関する規定の整備 / 研修体制の整備〕
〔救急救命処置の検証を行う体制の整備 / 組織内の位置づけの明確化〕

□ 救急救命士を雇用する医療機関は、所属する救急救命士に対して、以下の研修を行うこと。

〔【医療機関就業前に必須となる研修】医療安全、感染対策、チーム医療〕
〔【研鑽的に必要な研修】救急救命処置行為に関する研修等〕

引用：

第7回医師の働き方改革を進めるためのタスク・シフト／シェアの推進に係る検討会：資料1

3. 面接指導体制

(2023年8月時点)

面接指導対象者数
(80時間以上を対象)

122名
今後150名となる見込み

面接指導実施医師数

36名

面接指導について

システム活用検討事項

- ・ 面接日時のマッチング
- ・ 疲労度チェックリスト入力
- ・ 面接報告、意見書入力

をシステム上で行う

面接指導について

面接指導スケジュール調整システムイメージ図

管理用画面 一例

※管理用使用者は、
事務局と面接指導実施医師を予定

10月		10	11	12	13	14	15	16
<input type="checkbox"/>	休	1	1 日	10:00 - 19:00				
<input type="checkbox"/>	休	3	2 月	10:00 - 19:00				
<input type="checkbox"/>	休	2	3 火	10:00 - 19:00				
<input type="checkbox"/>	休	3	4 水	10:00 - 19:00				
<input type="checkbox"/>	休	1	5 木	15:00 - 18:00				
<input type="checkbox"/>	休	5	6 金	10:00 - 19:00				
<input type="checkbox"/>	休	1	7 土	10:00 - 19:00				
<input type="checkbox"/>	休	1	8 日	10:00 - 19:00				
<input type="checkbox"/>	休	2	9 月	10:00 - 19:00				

医師名		10	11	12	13
循環器内科面接医師	1				
呼吸器内科面接医師	1				
救急科面接医師	1		11:00 ☎️ 😊 👤 会員01 長時間面談60分		

面接指導について

面接指導スケジュール調整システムイメージ図

予約時 一例

予約アンケート

必須 1. イライラする（最近1ヶ月間の自覚症状として当てはまるものを選択）
よくある(3) ▼

必須 2. 不安だ（最近1ヶ月間の自覚症状として当てはまるものを選択）
ほとんどない(0) ▼

必須 3. 落ち着かない（最近1ヶ月間の自覚症状として当てはまるものを選択）
ほとんどない(0) ▼

必須 4. ゆうつだ（最近1ヶ月間の自覚症状として当てはまるものを選択）
時々ある(1) ▼

必須 5. よく眠れない（最近1ヶ月間の自覚症状として当てはまるものを選択）

変更の手続き中 変更をやめる

長時間医師 面談予約ページ

カテゴリを選択

- ✓ GrpA (循環・消内・総診・槽内)
- ✓ GrpB (消外・産婦・救急・整外)
- ✓ GrpC (精神・放射・麻酔・NICU)
- ✓ GrpD (腎内・呼内・血内・感染症)
- ✓ GrpF (眼科・皮膚・泌尿・耳鼻)

予約日時を選択

直近の状況 📅 << 前月 < 前週 翌週 > 翌月 >>

	9/30(土)	10/1(日)	10/2(月)	10/3(火)	10/4(水)	10/5(木)	10/6(金)
10:00~			○	○			○
10:30~			○	○	○		○
11:00~			○	○	○		○
11:30~			○	○	○		○

面接指導について

課題

- ・ **スケジュール調整の変更への対応**

期間が短く、対応がしにくい恐れあり

- ・ **面接実施による負担増加**

一部の診療科に負担が偏る、
時間外対応が増える等

4. 今後の課題

- 時間外労働時間数の低減
- タスクシフトの推進
- 財源の確保
- 集約化（救急、産婦、小児）

ご清聴ありがとうございました

